



令和7年度がスタートし、本校のSAHは新たなステージに入り始めています。

今年の目標は、定めた9つの取組を学校の通常の運営の中に落とし込み、根付かせたり、担当分掌や学年などを中心に改善すべきは常に改善を図ってよりよい学校づくりにつなげていくということ、そして引き続き、学習、進路、生徒会活動、行事と多方面で生徒のエージェンシーが発揮できる学校づくりを進めるということです。エージェンシーとは、「人が誰しも生まれつきもっている自分と社会をよりよくしようと願う意志と原動力」（R6.3.群馬県教育委員会）と定義されています。高女という器で、生徒のエージェンシーが各方面において多様に発揮されることが高女をさらに力強くしていきます。そのようにして、ますます発展していく自己と学校をつくっていくような、それぞれが自分ごととしてこのSAHを進めていきましょう。

SAHの今年度の9つの取組は、すでに動き出しています。これらは、昨年度、保護者、生徒から意見をいただきながら検討を続けて、定められました。今年はこれに加えて、新たな体制の中で新たな視点も盛り込む動きも始まっています。

令和7年度 高崎女子高校 9つの取組

- 1 セルフメンタルケアの充実
(人間関係づくり・こころの教育事業・メンタルトレーニングなど)
- 2 チーム担任制
(多様な教員に触れるオープンな生徒と教員の関係づくり。昨年度の1年生に加え、今年度は1, 2年生で実施。)
- 3 Aタイムの実施
(自己の学びを調整する時間として実施。今年度は8回。生徒、教員の自主企画授業も適宜行う。)
- 4 個別最適な学習支援
(1年Classi、2, 3年スタディサプリ、全学年スタディサプリEnglishを導入など)
- 5 多様な進路実現に向けた支援の充実
(進路対策「みちしるべ」の充実、基礎・発展の講座の充実など)
- 6 総合的な探究の時間の充実
(1年で探究の時間を2単位とし、インターンシップ実施。)
- 7 生徒主体の行事・企画の運営及び「協働」のしくみづくり
(開校記念日・椎樹祭・体育祭・修学旅行・DXハイスクール・部活動顧問契約制度など)
- 8 3年間を見通したグローバル教育の充実
(GSP実施・英検・海外研修の推奨など)
- 9 「高女イグナイト」による生徒への動機付け
(進路を主体的に考える動機とする講演会などを実施)

また、昨年度末には、本校のSAHの取組をもっと広報しようと、生徒有志が中心になって、広報戦略チームが組織され、ポスター及びグランドデザインのチラシを作成してくれました。すでに校内のあちこちにポスター、グランドデザインが貼られています。学校のHPのSAHの項目をクリックすると確認ができます。ぜひご覧ください。